

# 熊谷市長、市民主役の市政を進める



緊張の面持ちで初登庁する熊谷新市長。職員から花束を受け取り、市長バッジを着け、決意を新たにしていた

登米市長選挙で初当選した熊谷盛廣氏(66)が第2代登米市長に就任、5月1日に初登庁し、新しい市政が本格的にスタートした。

熊谷盛廣市長は、午前9時に市職員など約200人が出迎える中、市役所に初登庁しました。職員から花束を受け取り、市長バッジを着けると、幹部職員と握手をして庁舎に入りました。

午前9時半からの就任式では、市の幹部職員約100人を前に訓示。「緊張感を持って、今日を迎えた。これから4年間、しっかりとした市政運営を進めなければならぬ」と決意を新たにされた。市政の主役は市民。市民生活向上のために市政はある。この思いを共有してほしい職員も市民、その感覚を忘れず事務や事業を進めてほしい。「子育てや医療など、解決すべき課題は数多いが、一つ一つ確実に解決していきたい」「合併の

効果が出ていない部分に、光を当てる施策を展開する。私を助けるのではなく、共に努力してほしい。各部署が一丸となり、オール登米でまちを発展させ、多くの人が住みたいまちにしたい」と市政運営の基本的な考えを示しました。

記者会見では、10年間の将来ビジョンを示した第2次市総合計画について「このまま10年進めるといふことではない。策定5年後に、良い方向へ進めるようにしたい」、市長選の争点になった新庁舎建設について「建て替えない方針に変わりはない。議会と職員から経緯を聞いた上で、白紙撤回の方針で決定する」、本年度予算について「内容を精査し、選挙で市民の皆さんに約束したことを踏まえて、6月、9月に補正を組んで少しずつ自分の色を出したい」と抱負を語りました。

熊谷市長は、旧津山町長、県議を経て初当選。任期は4月29日から4年間。

## 広報とめ全国で佳作



日本広報協会が主催する「平成29年全国広報コンクール」で、広報とめ「To Me」が広報紙(市部)の部で佳作に選ばれました。

同コンクールは、28年中に発行された全国自治体の広報媒体を対象に実施されました。入選した28年9月号はA4判32ページ。特集「8万総広聴」は、真の協働のまちづくりに向けて「広聴事業」にフォーカス。広く市民の意見や要望などを聴き、市民と共にまちを総点検し、課題や問題を共有、解決する一歩目として考えました。

審査では▼紙面全体に市民の顔がたくさん出ている▼特集テーマ「8万総広聴」とあるが、紙面に市民の生き生きとした様子が示されること自体が「広聴」に相当する一など評価を受けました。

広報とめは、取材に協力してくれる皆さん、情報を寄せてくれる皆さん、読者の皆さんと共に作っています。これからも皆さんの活動に寄り添い、必要とされる広報紙を目指します。

【問い合わせ】  
総務部市長公室  
☎0220(22)2090

40代以上の皆さんへ

特集

# スポーツのススメ



「いくつになっても健康でありたい」—。これは誰しもが思うことです。健康に過ごすためには、正しい食と生活習慣の見直しはもちろんのこと、運動が欠かせません。40代以上の皆さん、運動していますか。今号は、中高年の運動について考えます。

## 健康寿命延伸には、40、50代での管理が大切

本市の平均寿命は、多少の変動はありますが延び続けています。このうち、健康で自立した生活を送れる期間を「健康寿命」といいます。本市の健康寿命は、県内35市町村のうち男性が78・03歳で29位、女性が83・05歳で21位と平均以下の順位となっております。

健康寿命を伸ばすには、食事と生活習慣の改善、日頃からの運動が大切です。40、50代は、仕事や子育てなどで忙しい年代。忙しさに加え、筋力や運動能力など、身体能力の衰えを感じ始める年代です。ここで、運動をすることが、健康寿命の延伸につながっていきます。

◆登米市の健康寿命と平均寿命

	年度	男性	女性
健康寿命	平成24年度	76.88	81.79
	平成25年度	78.41	83.40
	平成26年度	78.03	83.05
平均寿命	平成24年度	78.28	84.63
	平成25年度	80.11	86.78
	平成26年度	79.65	86.60

元気とめ食育21計画(第3期) 単位:歳